

### サクサHD調べ「DXの成功要因

## 「理解深めた」が半数以上

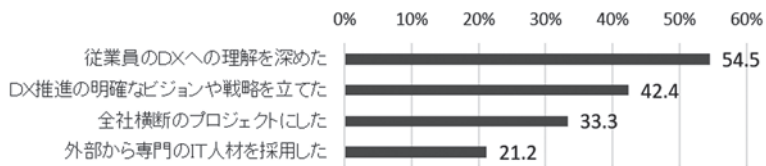
サクサホールディングサービス、金融・保険ス(港区)は、建設業など中小企業の経営者調査を実施した。それによると、DXで成果を上げた要因で最も多かったのは「従業員のDXへの理解を深めた」で、全体の半数以上に達した。一方、「DXがうまくいかない理由」では、「社員のDXに対するスキル・理解不足」の回答が最も多かった。「人材不足」と答えた経営層も多かった。

建設業も今後、従業員のDXのスキルアップや関連人材の獲得が必要としている。

調査は7月21～24日に実施し、218件の回答を得た。業種は建設業の他、情報通信、製造、卸売り・小売り、不動産、

サービス、金融・保険、宿泊など。アンケートで「実施し

成果へとつながったポイント



たDXが成果につながったポイント(工夫)は何か」の問いでは、「従業員のDXへの理解を深めた」が全体の54・5%を占め、最も高い割合を占めた。次に「DX推進の明確なビジョンや戦略を立てた」が42・4%で、「全社横断のプロジェクトにした」も33・3%を占めた。DX施策では、明確な戦略を立てた上で、従業員一人一人の協力が成功の秘訣(ひけつ)になるという結果になった。「外部から専門のIT人材を採用した」は21・2%だった。

一方、「DXがうまくいっていない理由は何か」(複数回答)の問いでは、最も多かったのが「社員のDXに対するスキル・理解不足」(38・5%)だった。「人材不足」が34・6%で続き、有能な人材の獲得が課題だと